



Weekly Report

名古屋みなと

イマジン ロータリー

2022~2023

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 高村 芳行 幹事 三枝樹 明道
 広報・雑誌・会報委員長 橋本 美徳

IMAGINE ROTARY イマジンロータリー R. I. 会長 ジェニファー・E・ジョーンズ



第 2668 回例会 No.37
 2023 年(令和 5 年)6 月 9 日(金) 晴
 「それこそロータリー」

出席報告

会員 58 名中 出席 45 名 出席率 77.58%



会長 高村 芳行君

ニコ BOX

(昨日、西名古屋分区の会長幹事懇談会に副幹事の藤掛君と行って来ました。藤掛君御苦労様でした。二次会までのお付き合いありがとうございました)

高村会長

(同好会活動報告宜しくお願いします) 三枝樹幹事 (トラグルメ会楽しかったです。ロータリーバッジ忘れました)

渡辺君

(本日、トラグルメ会の活動報告をさせていただきます。また一昨日のトラグルメ会において、1人あたり300円、合計4500円の残金が発生しましたので、合わせて寄付をさせていただきます)

山内君

(地区財団委員会出席のため早退します) 猪子君 (菅君、これから大変お世話になります。どうぞよろしくお願い致します)

中井君

(本日同好会報告させていただきますので、よろしくお願いいたします)

長瀬君

(雀友会報告をさせていただきます。よろしくお願います)

加藤(昌)君

(同好会報告をさせていただきます。よろしくお願います)

橋本(美)さん

本日合計	30,000 円
累計	1,480,550 円

幹事報告

三枝樹 明道君



- ①6月30日までに2023-24年度上半期の会費を納入してください。
- ②下地健太郎君より退会の申し出があり、臨時理事会にて承認されました。

ゴルフ同好会会長 長瀬 廣幸君



①収支報告

今年度は高村会長のご厚意で、同好会登録者数で換算した「補助金」をクラブから頂戴いたしました。

☆ ゴルフ会登録者数

18名×1人当たり補助金=【収入】
今年度は「取切戦」は行わず、『年間ポイントランキング』を別途採用することにより、【年間グランドチャンピオン】を決定し、上記収入分総額の賞品を優勝者に贈呈する方式となっております。

②活動報告

当ゴルフ会は、【年会費無料】で、当クラブ会員で参加費をお支払いいただければ、どなたでもお気軽にご参加いただけます。

今年度は「年6回」開催し、次年度も同じく「6回開催」を予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。



- 令和4年9月14日(水)
「海の日」においてトラグルメ会開催 12名限定
会費 10,000円
- 令和4年11月18日(金)~11月20日(日)
「仙台トラベル」の実施 12名参加
東松山市の植林の視察、松島観光、宮城峡蒸溜所見学
西仙台カントリークラブにてゴルフ
- 令和5年2月15日(水)
「シェンロン」においてグルメ会開催 20名参加
会費 10,000円
- 令和5年6月7日(水)
「うなぎ しば福や」においてグルメ会開催
15名限定 即日完売 会費 12,000円
- 令和5年8月9日(水)
ビアパーティー開催予定 25名を予定

釣り同好会幹事 三枝樹 明道君



釣り部会は今期10名でスタートしました。
総会を令和4年7月28日に名鉄グランドの涵梅
舫にて行いました。
出席者はなぜか14名でした。釣り部会は伝統的に
飲み会には誰でも自由に参加できる会でしたので、
人数にはこだわらず総会を行いました。
総会では、釣りを実際にする会員が減少したこと、
高齢化で釣りが体力的にキツくなったこと等が
議題に上がり、釣り部会を『なんでもやってみる
同好会』に合併することが決議されました。クラ
ブからの補助金3万円より総会への支出を差し引
いた8,460円を持参金として、橋本美穂さんにお
渡ししました。



愛車同好会の活動ですが、ここ数年コロナ禍の関係で
活動もしていない状況でした。
高村君が作られた会でもあり存続したいのですが、
メンバーもなかなか集まらない状況ですので、
6月21日の総会にて、これから方針など決めたいと
思います。尚、会からの補助金7名分は総会費用の一
部を当てさせていただきますので宜しくお願い致し
ます。

雀友会副会長 加藤 昌哉君



名古屋みなとロータリークラブ マージャン同好会
「雀友会」の運営内規は以下の通りです。
1.当会はエチケットとルールを守り、ロータリア
ンとして相応しい行動をとるとともに、楽しくプレ
ーし、親睦を図ることを第一義とする。
2.年間6回開催する。
3.半荘東南回し、半荘一回毎になるべくメンバーの入
替を行い、多くのメンバーと親睦できるようにする。
細かいルール表は別途配布する。
4.毎回参加者の得点を記録し、年間60%以上の参
加で平均最高点者を優勝者とする。優勝者、準優
勝、3位は7月の第一例会にて表彰を受ける。
5.参加費はその都度支払う。飲食は各自精算す
る。余剰金は賞金とニコボックスに回す。
6.役員 初年度 顧問 鈴木 哲
会長 藤原 修
副会長 加藤 昌哉 加藤 博之
任期は2年毎、但し初年度は2022年12月より、
2025年6月までとする。
役員は指名により選任する。

ロータリー雀友会資金収支				
日付	項目	入金	出金	残
2022年12月16日	会費@5,000×10名	50,000		50,000
	株式会社琥珀		36,370	13,630
2023年2月6日	会費@5,000×10名	50,000		63,630
	株式会社琥珀		39,690	23,940
2023年4月3日	会費@5,000×12名	60,000		83,940
	株式会社琥珀		53,060	30,880
2023年6月9日	会費@5,000×12名	60,000		90,880
	株式会社琥珀		49,850	41,030



今年度は二つの行事を開催しました。

* 2022年12月10日(土)
岩佐副会長の地元を訪ねる旅
「郡上散歩と大和古今伝授の里
オリジナルバスツアー」

参加者：20名
郡上の街並みを散策し、水辺に浮かぶフレンチレスト
ランにてランチ。その後名古屋大学競技カルタ部の2
名を先生としてお招きして、全員で百人一首に挑戦し
てみました。

* 2023年4月23日(日)
「御在所に登ってみよう」

参加者：15名
快晴の登山日和となりました。
4時間ほどかけて、ゆっくりと景色を楽しみながら無
事に登り切り、山頂駅にてロープウェイ組と合流。
全員揃って山頂まで到着できました。

次回は紅葉トレッキングと美味しいものをセットに
した企画を検討しております。ぜひともご参加くださ
い。また、釣り、愛車でドライブ他、「やってみたい
こと、挑戦してみたいこと」等ありましたら、お気軽
にお声がけください。

1. 理事会開催 — 23学年度から9人増の889人採用 —

6月5日、第39回理事会が都内会場にて開催され、全国から理事27人、監事2人が出席しました。今回の理事会では、議長の若林紀男理事長の進行の下、主な議案として、2024学年度奨学生採用数、2024学年度募集要項、2023年度事業計画案、資



産運用方針案、取支予算案などが審議されました。これらの議案は各担当理事、事務局長からの提案説明を経て、すべて原案通り承認されました。これにより、2024学年度の奨学生採用数は、前年度から9人増加の889人(枠)とすることなどが決定しました。

2. よねやま親善大使 退任式・任命式開催

6月5日の理事会開催前、この6月末で退任となる第4代よねやま親善大使3人の退任式が行われました。記念品として感謝の盾などが贈られ、それぞれの大使が3年に及ぶ活動や支援への感謝を述べました。コロナ禍という、活動が制限された難しい環境の中、精力的かつ柔軟に活動していただき、心より感謝申し上げます。その後、7月1日から正式に始動する第5代よねやま親善大使3人の任命式が行われました。



退任するカレンさん(左)、アヘゴさん(中央右)、幸さん(右) 挨拶やアドバイスを話していただきました。まもなく、第5代よねやま親善大使の3人が2年の任期で活動を開始します。米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーとの交流から、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや献送会等のスピーチに、ぜひお招きください。招へいをご希望の場合は、米山奨学会事務局の広報担当まで。



変遷味を受け取った陣理さん(左)とウエンブウェさん(右) 残念ながら、イメン ジェブリさんが体調不良により欠席となりましたが、全国各地の理事が見守る中、若林理事長から、出席した2人の大使へ委嘱状とタスキが手渡されました。また、親善大使のセレモニー終了後、奨学会事務局にて第5代よねやま親善大使のオリエンテーションを開催。広報委員会の酒井善盛委員長を講師に迎え、親善大使の役割や心構えを学んでいただいたほか、第4代親善大使から、体



3. 寄付金速報—今年度の寄付実績は6月30日(金)まで—



5月までの寄付金は前年同期と比べて6.6%増(普通寄付金:1.2%減、特別寄付金:10.5%増)、約8,080万円の増加となりました。今年度予算の普通寄付金4億1千

万円までは、残りあと290万円ほど。特別寄付金8億7千万円は既に3,000万円超えて、今年度分の予算達成は確実となりました。ご寄付をいただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。尚、今年度の寄付実績は、**普通寄付金・特別寄付金ともに6月30日(金)までに当会銀行口座に入金記載された分まで**となります。日程に余裕をもってご送金ください。

4. 博士号取得状況

2022-23学年度に博士号を取得した奨学生・学友は64人、これまでの累計は3,919人となりました(6月12日現在)。米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏面に氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ例会で贈呈することにより、学友との交流再開のきっかけとなるかもしれません。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。



- 申請方法
- 奨学期間終了後の取得でも対象です
 - お届け先は、原則として世話クラブで完成まで約2週間かかります

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。(FAX:03-3578-8281/email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

5. 全国米山学友会代表者セミナー開催

国内外の米山学友会代表者を対象としたセミナーが5月13日、ハイブリッド形式で開催されました。都内会場には日本国内33の学友会のうち代表者27人が集い、海外学友会会長の9人がオンラインで参加しました。若林紀男理事長、学友準備委員会の服部良男委員長からそれぞれご挨拶をいただき、事務局から学友会規程や標準会則に関する説明を行いました。「再会 in 関東」について村貞子実行委員長からご案内いただいた後、タイ学友会のブロード ワラウト会長(1995-97/福岡東南RC)、第2740地区学友会のアメリア・リズキー会長(2020-21/鹿島RC)、第2660地区学友会の頼晋堂会長(2006-07/やまと西和RC)の3人から、各学友会の活動や工夫について、事例発表が行われました。



セミナー終了後に全員で記念撮影。その後は4グループに分かれ、会員増強など、学友会の運営について活発な議論が交わされました。駒井英基学友担当理事からの講評後、懇親会が開催され、打ち解けた雰囲気ですらに親睦が深められたようでした。今回のセミナーを通じて、地区を越えて学友の結束が深まり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。

月	日	今後の例会予定
6	16	港友例会 1年を振り返って（スライド） 17F「コスモス」
	23	休会
	30	退任挨拶 17F「コスモス」
7	7	新年度方針発表 会長 柳澤 講次君 幹事 藤掛 誠一郎君 名古屋中央 RAC 会長 大坪 和樹君 17F「コスモス」
	14	第1回クラブフォーラム 新年度方針発表 S.A.A. 山内 靖雄君 クラブ奉仕委員長 鈴木 哲君 職業奉仕委員長 加藤 昌哉君 社会奉仕委員長 加藤 嗣郎君 国際奉仕委員長 市野 文俊君 青少年奉仕委員長 大平 剛君 17F「コスモス」
	21	港友例会 17F「コスモス」
	28	休会